

環境経営への積極的なアプローチを！

エコアクション21への取り組み

聞く！
語る！

特集
見聞

地球温暖化や大気水質汚染など環境問題が深刻化する昨今、企業が環境への取り組みを求められ、評価される機会も増えていきます。「エコアクション21」は、中小事業者等の環境への取り組みを促進するとともに、効果的・効率的に実施するための取り組みやすい環境経営システムで、光熱水費などの経費削減に繋がるほか、認証・登録することにより行政機関や大手企業の環境経営における取引や入札にも役立つことから、(社)山口県建設業協会でも会員の皆様を集め、セミナーを実施するなど導入に向けて積極的に取り組んでいます。

今回は「エコアクション21」について、その概要とメリットなどを紹介します。

■エコアクション21とは

広範な中小企業、学校、公共機関などに対し、「環境への取組を効果的・効率的に行うシステムを構築・運用・維持し、環境への目標を持ち、行動し、結果を取りまとめ、評価し、公表する」方法として、1996年に環境庁(現環境省)が策定し、その後改良が重ねられた環境経営システム。①環境への負荷の自己チェックの手引き、②環境への取組の自己チェックの手引き、③環境経営システムガイドライン、④環境活動システムガイドラインの4つの



パートによって構成されており、ガイドラインに沿って取り組むことで幅広い事業者が環境経営の総合的な運用を図ることができます。

2004年10月から、財団法人地球環境戦略研究機関(IGES)持続性センターにより認証・登録制度が実施されており、現在登録事業者は全国で2000件を超えます。

■エコアクション21のメリット

エコアクション21の認証・登録は「環境経営の証(あかし)」です。環境活動レポートを作成し、公表することにより、取引先や一般消費者に対しての信頼性が向上します。

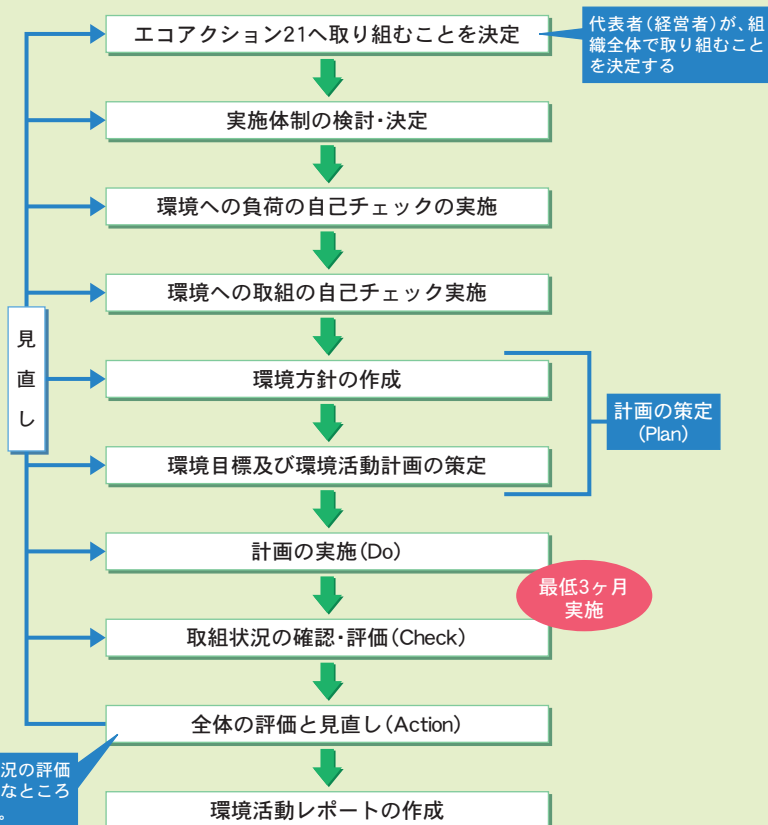
大手企業や行政機関が環境への取組や環境経営を取引や入札の条件の一つとする「サプライチェーンのグリーン化(※)」に対応することができ、入札参加資格のポイント加算にも繋がるほか、エコアクション21に取引組む上で、分別・リサイクル、省エネルギーなどを行うことが必



須となりますので、光熱水費などの経費の削減など経営的な面でも効果が期待されます。

また、認証・登録に要する費用は、同様の環境マネジメントシステムの規格を示すISO1400

エコアクション21の取組手順



1の認証・登録と比較すると格段に安く、ISO14001に替わる国内普及版として中小企業でも取り組みやすくなっています。
（※サプライチェーンのグリーン化…商取引の関係を持つ系列・取引事業者すべてが、有害物質の削減やリサイクル素材の採用など環境に配慮すること）



■エコアクション21の取り組み方

エコアクション21の取組は、環境省の「エコアクション21環境経営システム・環境活動レポートガイドライン」に沿って行います。認証・登録を受けようとする方は、申請前に3ヶ月半の間の、事業場においてエコアクション21に取り組みます。
まず事業所からの環境負荷（二酸化炭素、廃棄物、水使用量削減

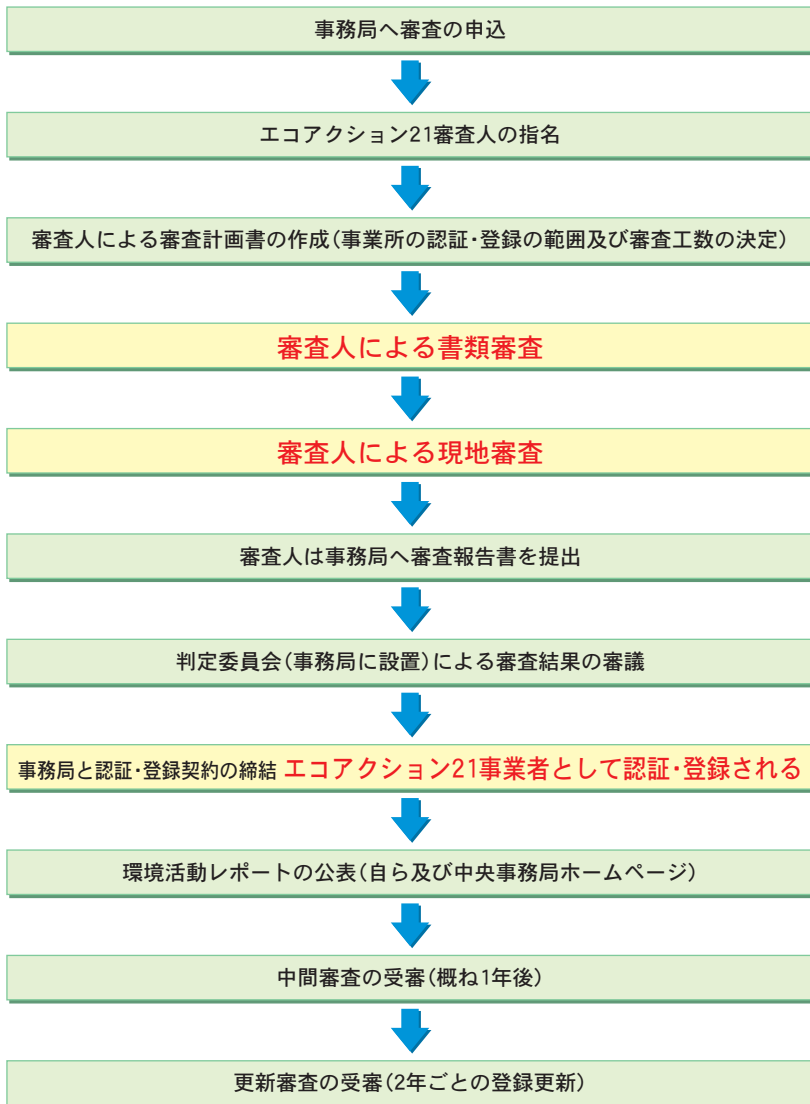
～ 環境負荷の把握項目及び環境への取組の評価項目 ～

活動内容	負荷チェック	取組チェック
① エネルギーの消費	■総エネルギー投入量 ■購入電力量、化石燃料消費量、新エネルギー量 等	■省エネルギー ■新エネルギー使用の拡大
② 原材料、部品、包装材料等の消費	■総物資投入量 ■循環資源投入量、天然資源投入量 等	■省資源 ■グリーン購入
③ 水の消費	■水資源投入量 ■上水、工業用水、地下水 等	■節水、水の効率的利用
④ 化石燃料等の燃焼	■温室効果ガス排出量 ■二酸化炭素、メタン 等	■二酸化炭素の排出抑制
⑤ 化学物質の使用・排出	■化学物質排出量・移動量	■化学物質対策
⑥ 製品の生産・販売	■総製品生産・販売量	■製品の開発・設計等における環境配慮
⑦ 廃棄物の排出	■廃棄物等総排出量 ■有価物、一般廃棄物、産業廃棄物 等	■廃棄物の排出抑制、リサイクル
⑧ 廃棄物の最終処分	■廃棄物最終処分量	■適正処理
⑨ 排水	■総排水量・水質汚濁物質排出量	■排水処理

特集見聞

聞く！語る！

エコアクション21の認証・登録の手続き



は必須項目)と省エネルギーなどの環境への取組をチェックシートに基づき自己チェックを行い、その結果をふまえ、環境方針、環境目標及びその目標を達成するための環境活動計画を策定。取組を開始します。必ず実施する行動として、省エネルギー、廃棄物の削減・リサイクル及び節水などがあげられます。

以後、定期的に確認・評価を行いながら、問題があれば見直し・改善処置を施すなどして、環境への取組をよりよいものにしていきます。

この際、ガイドラインの要求事項は、取り組まなければいけない項目を規定していますが、どのような方法でそれを適合させていくかは、事業者の業種、業態等によって異なることから、その取組・実施内容については、それぞれの創意工夫に委ねられています。

3ヶ月～半年の取組実施後、結果を取りまとめ、環境活動レポート(環境方針、事業概要、環境目標と実績、環境活動計画、取組結果の評価、環境法規の遵守)を作成し公表します。

■エコアクション21の認証・登録

環境活動レポートを作成したら、地域事務局へ審査の申込を行います。地域事務局はエコアクション



エコアクション21

《エコアクション21ロゴマーク》



「エコアクション21」グループ研修会

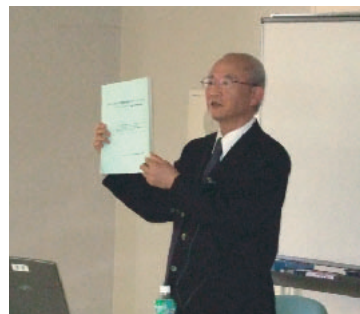
21審査人(※)を指定し、審査人による書類審査・現地審査に合格、事務局判定委員会の審議で認められれば、エコアクション21認証・登録事業者となり、エコアクション21認証・登録証が交付されます。申込から認証・登録までは約2ヶ月程度です。

事業者の認証・登録の有効期間は2年間で、登録の1年後に「中間審査」、2年以内に「更新審査」を受けることによって認証・登録は更新されます。

※エコアクション21審査人とは
環境対策や環境システムに関する知識や経験を有し、事業者との間で適切なコミュニケーションを図ることができることを要件に募集され、中央事務局が実施する試験に合格し、講習を受講した方が審査人として認定・登録されます。審査人のリストは「エコアクション21ホームページ」に掲載されています。

■山口県建設業協会が中核団体となって 「関係企業グリーン化プログラム」に取り組み中

エコアクション21認証・登録制度の実施の一環として、中核となる企業・団体を中心に、関係する参加事業者が一齐にエコアクション21に取り組み、中核企業・団体全体の二酸化炭素の削減や省エネルギーなどを実現する「関係企業グリーン化プログラム」があります。



このプログラムは、エコアクション21の中央事務局が地域事務局の協力を得て、関係企業・団体に無料でエコア



クション21の審査員を派遣し、集合した参加事業者に対して、環境対策のアドバイスをわれ、一齐にエコアクション21へ取り組み、認証登録を目指すものです。

プログラムに参加する事業者と、すでにエコアクション21を取得している事業者またはプログラムに参加せずエコアクション21を取得しようとしている事業者の間に、その後の手続きや審査費、認証・登録費の違いはありませんが、プログラムに参加することによりお互いが励まし合いながら行うことで、さらに効果的な取組ができると考えられます。

平成19年度は、全国で10の中核企業・団体を対象とし募集がありました。が、(社)山口県建設業協会

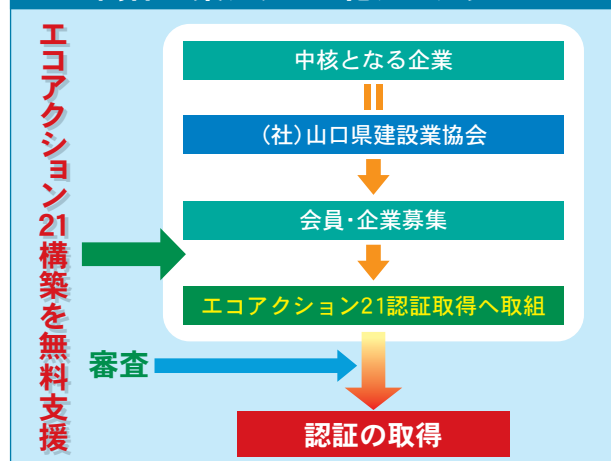
は、建設業協会としては初めてのこのプログラムに応募。希望する会員企業を集め、セミナーや研修を実施して、エコアクション21の取得を促進する積極的なアプローチをしています。

また、このプログラムのほかにも、全国では自治体を中心として地域の二酸化炭素の排出量減少などを図る「自治体イニシアティブ・プログラム」が実施されており、様々な税制、補助金や入札などでエコアクション21を支援する自治体が増えるなど、自治体と連携した動きも注目されています。

美しい地球を次世代に引き継いでいくため、一人一人の心がけが必要となる環境問題。その場限りではなく、継続的に進めていくこと

が重要であり、一事業者のみならず関係企業すべてと全員で取り組んでいくことで、その効果も高まります。エコアクション21は未来に向けての第一歩となることが期待されます。

関係企業グリーン化プログラム



●エコアクション21について詳しくは…

「エコアクション21財団法人地球環境戦略研究機関 持続性センター」ホームページ(<http://www.ea21.jp/>)
『エコアクション関連諸規定・マニュアル』、『エコアクション21認定・登録業者』を始め、
『エコアクション21審査人』、『エコアクション21地域事務局』等も閲覧できます。

●県内のセミナー・研修等の情報は…

「山口県建設業協会」ホームページ(<http://www.yamaken.or.jp/>)